立花高等学校通信　～ゆっくり・のんびり・まったり～

パイルアップ

第 30 号
令和8年 11 月 26 日
文責　校長

精華女子高等学校吹奏楽部

先週末は大阪城ホールで開催された第 39 回全日本マーチングコンテストを観に行って参りました。どんなに忙しくてもこのスケジュールだけは絶対に外せない我が家の年中行事なのです。全団体素晴らしく指の骨が折れる程全力で拍手しました。

名門精華女子高等学校吹奏楽部の演奏演技が圧倒的でした。何と 26 年連続の金賞受賞です。顧問の先生ともお友達のため、特に熱を込めて応援しましたが、全ての要素が群を抜いて素晴らしく、まさしく日本一の堂々たる存在感でした。今月初頭に開催された全日本吹奏楽コンクールでも金賞を受賞しておられるので、大会間が僅か三週間で全く内容の異なる 2 つの分野でのダブル金賞受賞となります。しかもそれがもう何年も続いていらっしゃるのです。ものすごいことです。

この快挙はなぜもたらされるのでしょう?『精華女子がすごいから』では絶対にありません。精華女子に入学した時点で決まっている結果などではないのです。入学以降部員の皆様が壮絶な努力を続けて来られた賜物であり、顧問の先生も含め彼女たちがどこかで油断や慢心があったり、あまりのつらさにあきらめたりしてしまっていれば、そこで簡単に途切れていたはずの、涙ぐましい日々の結果なのです。いかなる団体のいかなる結果でも、その前段の『努力』を当り前ですませてはなりません。

ならば、例え結果が伴わなかったとしても、努力の成果は何ら色あせるものでもないのです。私は、本番の素晴らしい演技はもちろんですが、ここに至るまでの彼らの努力に心を込めて拍手をしたつもりです。生徒の皆さん、目先の結果に左右されず自分が重ねるべき努力を大切にしましょう。努力をすれば必ず結果が出るとは限りませんし、結果がでないのは努力が足りないからでもありません。努力は結果を出すためにあるのではなく、自分自身の美しい生き方のためにあると思っています。

【来週の予定】

日　曜	学年	1	2	3	4	5	6	7
30（月）	全学年	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
1（火）	全学年	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
2（水）	全学年	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	放課後
3（木）	全学年	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
4（金）	全学年	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	金⑦

※4 日は 13 年は体験授業報告会・2 年生は進路の日

mamas café　来週の日替わりランチ

30（月）	1（火）	2（水）	3（木）	4（金）
ビビンバ丼	とりすき	ハヤシライス	ヤムニョムチキン	ちゃんぽん
唐揚げ	肉団子	サラダ	ポテサラ	揚げ餃子
スープ	みそ汁	スープ	スープ	おにぎり

（今日のイイね!）



本校が主管して開催してきた特別支援教育に関するセミナーが 12 月 13 日（土）に本校体育館で開催されます。今回で 17 回目となります。

基調講演者には女優の東ちづるさんをお迎えしました。東さんは障害者の雇用促進や表現活動にも大変精力的に活動を続けていらっしゃいます。

何より 17 回も継続させてきた主管としての苦労を誇らしく思っています。保護者の皆様、この機に参加してみられませんか？1 名でも多くの方の申し込みを心からお待ちしています。

立花高等学校通信　～ゆっくり・のんびり・まったり～

パイルアップ

第 29 号
令和8年 11 月 19 日
文責 校長

校歌

先日、長崎県佐世保市に出張して参りました。出張が続いてしまっていたこともあり随分と疲れもたまっていましたので、会が始まる前のちょっとした時間、椅子に座ってぼ～っとリラックスをしていました。お部屋には心地良い音楽が流れています。

目の前でキーボードを生演奏しておられた女性が次の曲の演奏を始められました。ふと気づくと、何やら耳に親しみのあるメロディーが聴こえてきます。ん?んんん???わぁぁぁぁぁ!!!!何とまさにこの曲は立花高校の校歌ではありませんか(゜д゜)！びっくりしました。まさか佐世保で校歌が聴けるなんて！その方のアレンジもとても素敵で、歌いなれた曲が一段と美しく聴こえてきます。和音の選択がちょっぴり違うだけで音楽の全体像は大きく変化して聴こえてきます。

何より、わざわざ立花のホームページから校歌を調べ、楽譜を印刷し、ご自身でアレンジして演奏して下さったということに大きく感動しました。私が喜ぶだろうという『おもてなしの心』が伝わってきて、何より嬉しかったです。とても思い出に残る印象深い佐世保出張となりました。

そして、上にも書いた通り聞きなれているはずの校歌が、ほんのちょっとの和音の変更でものすごく斬新に聴こえたことも率直に感動しました。人間に例えるならば、ほんのちょっと髪の毛の色を変えただけで、その人全体の印象が変わりますよね?音楽にも同じことが言えるのです。旋律は全く一緒でも伴奏が変わると、曲全体が違って聴こえるのです。何事もそうなのかもしれませんね。大きな変化でなくても、今できる小さな小さな変化を大切に積み上げていくことで、気が付いたら大きな変化が生まれてくるかもしれません。そんなことを学びました。何か変化を求めたいあなた、いきなりの大きな変化より、今、ここでできる小さな変化から始めてみましょう!

【来週の予定】

日　曜	学年	1	2	3	4	5	6	7
23（月）	全学年	祝　勤労感謝の日　祝						
24（火）	全学年	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
25（水）	全学年	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	放課後
26（木）	全学年	月①	月②	月③	月④	木⑤	木⑥	木⑦
27（金）	全学年	金①	金②	金③	金④	プレミアムフライデー		

mamas café　来週の日替わりランチ

23（月）	24（火）	25（水）	26（木）	27（金）
店休日	きのこパスタ サラダ スープ	天ぷら 和え物 みそ汁	タンドリーチキン ポテサラ スープ	ハンバーグ サラダ スープ

（今日のイイね!）



先日私学振興全国大会に参加して参りました。福岡県私学協会の役員を仰せつかってから初めて分かったことが『補助金や支援金を国や県から頂けるようにするために、既に多くの力が注がれている』ということです。

現行のシステムは決して『当たり前』ではありません。多くの方々の並々ならぬご苦労のおかげで、今の形は出来上がってきているのです。

原点を忘れると感謝の気持ちも薄れます。今あることを当り前ですませず小さな感謝を大切にしたいですね。

立花高等学校通信　～ゆっくり・のんびり・まったり～

パイルアップ

第 28 号
令和8年 11 月 12 日
文責 校長

17アイスクリーム

福岡市長選挙が近づいて参りました。史上最多の方々が立候補しておられることにまずは深い尊敬の念を抱がずにはおれません。市議会議員や国会議員を経験した方もいらっしゃいますが、『自分が変える』『自分ならこうする』と言う自分を主語にした発想で勇気を持って立候補した一般市民の方々が大多数です。この『主体性』こそが、立花の生徒さんに身につけてほしいと願っている最上位の一つです。自分で考え自分で決断することは、そう簡単なことではありません。しかし私たちはいつでも『誰かのせい』にして生きていくことはできないのです。

自分自身の毎日の小さな決断ももちろんですが、市政や県政、ひいては国政に関してさえも『誰かに任せる』のではなく全て自分を主体にして考えていかなければ、政治と自分自身が別な存在になってしまいます。これはとても危険です。その政治の中で私たちは社会生活を送っているのですから、強い関心を持つことは市民としての権利でもあり、責任でもあるはずです。それを軽々と放棄して欲しくありません。

本校の教職員、それから生徒さんの保護者の皆様、更には18歳以上の生徒さん達は全員が選挙で一票を投じる権利を持っています。しかしそれは17歳以下の生徒さんは持ち合わせていないものなのです。果たして様々な選挙の投票率がこんなに低い国で、どうして我々大人が子どもたちに偉そうな態度がとれるのでしょう。私は大人の一人として、子どもたちに申し訳なくてたまりません。

私はただの一度も投票を棄権したことはありません。子どもの幸せを願う仕事に就いている私がそれをしてしまったら生徒さん達に顔向けできませんから。福岡市民で18歳になっている生徒さん。17歳の友達は君の一票をまだ持っていません。が、彼らのためではなく自分のためにその一票をどうするか、よく考えましょうね。

【来週の予定】

日　曜	学年	1	2	3	4	5	6	7
16（月）	全学年	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
17（火）	全学年	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
18（水）	全学年	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	放課後
19（木）	全学年	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
20（金）	全学年	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	金⑦

※20（金）16:00　中学生との交流会

mamas café　来週の日替わりランチ

16（月）	17（火）	18（水）	19（木）	20（金）
オムライス サラダ スープ	竹輪ポテサラ天 青菜和え物 みそ汁	キャベツ豚肉炒め 春巻き スープ	チキン南蛮 人参しりしり みそ汁	皿うどん シューマイ おにぎり

（今日のイイね!）



ママズカフェに置いてあるセブンティーンアイスクリームの自動販売機は数年前に生徒会役員選挙に立候補した先輩が公約に定めたものでした。そして彼が当選したことにより、それが実際にこうして実現したのです。

声を上げた瞬間、叶わないこともありますが少なくとも声を上げないより実現の可能性は確実に上がるのです。一票を投じるだけでなくこうして『こうしたい』と描くことこそ、かけがえのない『主権者教育』だと思います。常に自分主語で考えてみましょう。